

令和8（2026）年度 学校経営方針

1、 学校教育目標

～認め合い、支え合い、挑戦する学校～

- ・認め合い⇒仲間（生徒、教職員）の良さを認める。
- ・支え合い⇒お互いに足りないところを補う。協働。「チーム学校」「チーム魚住東」。
- ・挑戦する⇒教職員自らが授業改善(主体的・対話的で深い学び)と業務改善に挑戦する。
校訓 「自主・協調・責任」

2、 めざす生徒像

- ① 自らを大事にでき、自分に自信が持てる生徒（自己肯定感）
- ② 他者も大切にし、協働できる生徒(他者理解・協働)
- ③ 自ら考え、挑戦できる生徒(問題解決能力・チャレンジ力)

3 目指す学校像

- ① 笑顔があふれる学校
 - ・できる喜び、わかる喜びが味わえる授業 ・互いの良さを認め合える学級
- ② 安全で安心して過ごせる学校
 - ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応 ・防災教育の充実 ・教育環境の整備
- ③ 地域とともにある学校
 - ・コミュニティ・スクールの推進 ・行事のオープン化 ・地域行事への参加

4 目指す教職員像

- ① 人間性豊かな教職員
 - ・子どもたちとの心の触れ合いを大切にする・豊かな人間性・人権感覚の涵養に努める
- ② 情熱と使命感を持つ教職員
 - ・服務規定の順守 ・子どもへの深い愛情 ・教職員は生徒にとって「生きるモデル」
- ③ 確かな専門性を持つ教職員
 - ・校内研究の充実 ・様々な研修機会への積極的な参加 ・授業改善への意欲

5 重点目標

- ① 生徒指導体制の強化、不登校生徒への対応強化
 - ・命を大切にする指導 ・相互の信頼関係に基づく生徒指導の推進
 - ・重層的で組織的な生徒指導体制の構築（学級⇒学年⇒管理職）
 - ・担任（学年）と校内フリースペースとの情報共有と連携強化
- ② 道徳教育の充実
 - ・生徒たちの心を育てる授業や日常の学級活動の展開 ・規範意識の涵養
 - ・校内研修の充実
- ③ 特別支援教育の充実
 - ・支援が必要な生徒たちの共通理解と適切な対応 ・合理的配慮の提供
 - ・担任（学年）と特別支援学級との情報共有と連携強化
- ④ 教員の資質能力の向上
 - ・ミドルリーダーの育成 ・若手教員の育成 ・校内研修の充実
- ⑤ 勤務時間の適正化
 - ・働き方改革の推進 ・定時退勤日の徹底 ・ノー会議、ノー部活デーの順守
 - ・ワークライフバランスのとれた働き方 ・教職員のメンタルヘルスの保持

6 学校としての基本的視点

— 生徒を中心に据え、一人ひとりが大切にされている学校 —

- (1) 人権尊重の精神を徹底し、共に生きる生徒の育成を図る。
 - ・「命の大切さ」に対する意識の一層の向上
 - ・温かく互いに支え合う雰囲気のある学級づくり
 - ・自分や他人を大切にし、相手を思いやる心の育成
 - ・一人ひとりの学習が保障される授業の展開
 - ・教職員の人権感覚を磨く

- (2) 地域とともにある学校づくりを推進し、家庭・地域から信頼のある学校
 - ・地域・家庭・学校が共通の目標を持つコミュニティ・スクールの推進
 - ・防災・減災を軸とした学校、家庭、地域との協働
 - ・オープンスクール、オープン化授業の充実
 - ・学校評価を学校経営に生かす

- (3) 教職員の能力が最大限発揮される学校。チーム学校。
 - ・自分の資質向上のため、自ら学ぶ姿勢を重視
 - ・若手教員の指導力向上のための研修の充実
 - ・市・県等の研修会への積極的な参加（計画的な研修）
 - ・人権意識の高揚（教職員研修の実施）
 - ・管理職・学年・係担当への迅速な報告・連絡・相談の徹底

- (4) 生徒の安心・安全が確保されている学校
 - ・生徒ひとり一人を大切にする学級経営
 - ・人権侵害の言動や行動を許さない職場、学級づくり

- (5) 校区の幼小中連携における先導的役割の推進
 - ・幼小中の学びの連携を目指したカリキュラムの研究
 - ・校種間での成果や課題の交流と、子どもの育ちの情報共有